

桜蔭俳話会 十月句会 (第三六九回)

平成三十年十月二十七日(土)

大塚・歳勝土遺跡(横浜市都筑区) 吟行。

句会場は横浜市歴史博物館研修室。

- 3点 風通る席を分けあひはしりそば 邦子
- 3点 塩害をのがれし紅葉日にまぶし ヤエ子
- 3点 弥生人の言葉は知らず虫鳴けり 明美
- 2点①いにしへの葬送の丘木の実降る 守
- 2点①穴惑弥生の民の好奇心 かほる
- 2点①遺跡の丘へ街の息吹や竹の春 友子
- 2点 秋霖や黴の香強し住居跡 ヤエ子
- 2点 古墳跡空の高さよ赤トンボ 邦子
- 1点①埋もれるし太古のロマン小鳥来る 守
- 1点①眠り継ぐ遺跡の靍や夕日影 明美
- 1点 骨組の太き住居址天高し ヤエ子
- 1点 草の花土偶にひとつ力瘤 守
- 1点 野ざらしの大人車芋の露 友子
- 1点 四車線真直ぐ伸びる翾雲 ヤエ子
- 1点 ひび割れの木白にくぬぎの実三個 友子
- 1点 雨上がり空に向いて竹の春 邦子
- 1点 古民家の板戸の木目柿熟るる 友子
- 1点 ムラ長の竪穴住居秋気澄む 邦子
- 1点 ダンディーな舞ひのステップ木の葉散る 守

「事務局からお知らせ」
 ○第一三一回通信句会 作品募集
 秋の季語を用いた三句。締切りは十一月六日(火)。
 すでにお送りしてある葉書でお送りください。

○十一月句会
 十一月二十五日(日)午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)で行います。

○十二月句会
 十二月二十三日(日)午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)で行います。

○一月句会
 一月二十日(日)午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)で行います。

※

- 秀麗やいま始まりのアナウンス 守
- 新蕎麦や長き講釈聞きてから 友子
- どんぐりの囲む竪穴住居かな 守
- 吾亦紅名知らぬ鳥の啼きにけり 守
- 古民家の鈴生りの柿ひかりをり ヤエ子
- 茶室脇の小さき流れや草紅葉 友子
- 里芋の広がり受くる秋の雨 かほる
- 竹の春幹の向こうの青き空 ヤエ子
- 藁葺きの蓋のごとくや小鳥来る かほる
- 待ちわびし吟行の日を秋の雨 邦子
- 秋の蚊や払ひしも衣にとどまれり ヤエ子

○旭区俳句展
 十一月二十日から二十六日まで、旭区民文化センター(サンハートギャラリー)で行われます。